

気軽に読める暮らしのネタ

イノス INOS Monthly マンスリー



News Letter
2018.04 月

Vol. 191

東日本大震災から7年 改めて考えたい「家の中の防災」

○これを機会に防災の見直しを！

3月11日はいまだ記憶に新しい、東日本大震災が起きた日です。津波はもちろん、地震による死者や怪我人も膨大な数にのぼりました。これを機に、今一度、家の中の防災を見直しはいかがでしょうか？

○最も危険なのは「家具の転倒」

東京消防庁によると、地震による怪我人の3～5割は「屋内の家具の転倒や落下」が原因だそうです。これを防ぐ有効な対策は、家具を壁・天井・床・柱などに固定すること。食器棚やたんす、本棚など、それ自体が重く上に中身が飛び散る危険のある家具は、特に対策が必要です。

そこでオススメなのが、市販の「転倒防止器具」。天井に固定する「つつぱり棒」や、接地面に差し込む「ストッパー」は、家具や家を傷めず手軽に対策できます。釘を使って直接固定する「L字型金具」などは、より効果が高くなります。

○食品や生活必需品の備蓄もチェック！

災害時に怖いのは、怪我だけでなくライフラインの寸断です。水道・電気・ガス・流通などがしばらく無くても暮らせるように、「備蓄」もチェックしておきましょう。

備蓄量の目安は、最低3日分の食料と水です。大規模災害の場合は救援が

が遅くなることも考えて、1週間分あれば理想的でしょう。その他はトイレ用品、救急セット、照明(ライト・マッチ・ろうそく)、調理器具(カセットコンロ・カセットボンベ)、携帯ラジオと電池など。避難のための非常用の持ち出し袋も、人数分用意しておきましょう。



待望の春を楽しむ！イースターのススメ

○寒さからの開放感を楽しいイベントで満喫

いよいよ待ちに待った春！キリスト教圏の国では、この時季に復活したキリストを祝う「イースター(復活祭)」が行なわれます。かわいくデコレーションした卵を飾ったり、それをスプーンに乗せてレースしたり、隠して探す遊びをしたりします。どれも家族で楽しめる行事なので、お子様のいるご家庭にオススメです。

今年のイースターは4月1日。ご馳走を食べる習慣もあるので、春の食材をふんだんに取り入れたディナーも良いかもしれませんね。

全国に広がる家づくりネットワーク

INOS

イノスグループ

株式会社 創建

幸田町大字菱池字下田9-1

☎0564-62-7700